

第8回九州沖縄経済圏スマートフードチェーンプロジェクト
事業化戦略会議の開催について

1. 趣 旨

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構（以下、農研機構という。）は、2019年のプロジェクト発足以降、各研究課題について共同研究機関等と九州沖縄経済圏の農業・食品産業界等のニーズを確認するとともに、新たな研究課題のテーマについて協議を重ねています。

これらの活動結果や成果の活用事例について皆様にご報告する場として、そして新たなマッチングの場として事業化戦略会議を以下のとおり開催致します。

2. 開催日時：令和8年10月15日（木） 13：00～16：30

3. 開催場所：電気ビル みらいホール
（福岡県福岡市中央区渡辺通2丁目1-82）

4. 開催方法：会場200名（先着順）及びオンライン配信

5. 主 催：農研機構

6. 後 援：一般社団法人九州経済連合会、農林水産省九州農政局、経済産業省九州経済産業局、内閣府沖縄総合事務局、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、独立行政法人日本貿易振興機構（ジェトロ）九州・沖縄地域本部、イオン九州株式会社、株式会社丸美屋、マルキン食品株式会社

7. 内 容

(1)主催者挨拶 13:00～13:05
農研機構 理事長 千葉 一裕

(2)来賓挨拶 13:05～13:20
一般社団法人九州経済連合会 会長 池辺 和弘 氏
農林水産省九州農政局 次長 藤河 正英 氏
経済産業省九州経済産業局 国際部 部長 松本 孝之 氏

(3)成果の紹介

(3)-1. 講演

1)九州沖縄経済圏スマートフードチェーンプロジェクト成果の事業化と
輸出拡大に向けた農研機構の取り組み 13:20～13:30

農研機構本部 総括執行役 兼 事業開発部 部長 田中 健一

2)緑茶新品種「せいめい」の加工流通 13:30～13:50

かごしま茶「せいめい」研究会 会長 池田 研太 氏

- 3) 極多収ダイズ品種「そらみのり」の導入と栽培支援技術の取り組み
平均単収 300kg を目指して 13:50～14:10
ネットワーク大津株式会社 代表取締役 徳永 浩二 氏
- 4) うちなー魂×農研機構 ～青果用紅いも新品種の可能性を最大化する沖縄からの挑戦～
14:10～14:30
伊江島農産物加工株式会社 専務取締役 山城 孝和 氏
- 5) イチゴの安定多収生産への取り組みと展望
～新技術で「恋みのり」の単収 8 トン取りを目指して～ 14:30～14:50
島原 3 万パックの会 会長 吉田 晋悟 氏
- 6) 高温登熟性に優れた多収の水稻品種「にじのきらめき」と期待の新品種「みなもさやか」
14:50～15:10
農研機構九州沖縄農業研究センター 暖地水田輪作研究領域稲育種グループ
グループ長 笹原 英樹
- 7) 全体の質疑応答 15:10～15:30

(3)-2. ポスターセッション 15:30～16:30

担当研究者が会場で直接ポスターを用いて、事業化に向けた取り組みや最新の研究開発成果について説明します。また、ポスターセッションの際には、会議参加者間での名刺交換のお時間を設けておりますので、ご興味のある方は是非ご来場下さい。

なお、ポスターセッションの様子に関しましては、オンラインでの配信は行いませんので、ご了承ください。

- 1) 緑茶新品種「せいめい」の産地形成と高品質・安定生産技術
 - 2) 日本茶輸出と有機栽培に対応する中生の緑茶新品種「かなえまる」及び「りんめい」
 - 3) 国産大豆の安定供給化～多収新品種と高能率な播種技術で収量向上～
 - 4) 農研機構育成：沖縄紅いも品種～「おぼろ紅」、「ニライむらさき」、「Hai-Sai すいと」～
 - 5) イチゴのスマート CO₂ 施用技術
 - 6) 退緑黄化病抵抗性を有する緑肉メロン新品種「アールスアポロン」
 - 7) 退緑黄化病抵抗性を有する赤肉メロン新品種「アポロンルージュ」
 - 8) シールディング・マルチ栽培 (NARO S. マルチ) を利用したウンシュウミカンの生産力強化
 - 9) 暑さに強く、おいしい水稻品種「にじのきらめき」
 - 10) 高温登熟性に優れた水稻新品種「みなもさやか」
- 他、バーチャルほ場での農機の操縦体験等を予定

8. 事務局（連絡先）

農研機構九州沖縄農業研究センター 研究推進部事業化推進室 いのうえ たさき 井上・田崎
Tel. 096-242-7540, 7559 Fax. 096-242-7543
e-mail : sh-q-sfc@naro.go.jp

※内容が変更になることもございますので、予めご了承ください。